

都市計画道路の見直しについて（報告）

- ・【説明資料】 都市計画道路の見直しについて
- ・【参考資料】 各段階評価結果一覧・作業フロー

〈注意〉

この資料は、都市計画審議会の報告資料であり、
都市計画決定図書ではありません。

令和3年8月19日
交通計画課

都市計画道路の見直しについて

令和3年8月19日
交通計画課



○見直しの必要性

- ・長期にわたり事業未着手の路線や区間が存在。
- ・人口減少等の社会情勢の変化により、交通需要が変化している可能性。
- ・まちづくりの方向性に変化が生じたことにより、整備の必要性に変化が生じている可能性。

○見直し手法

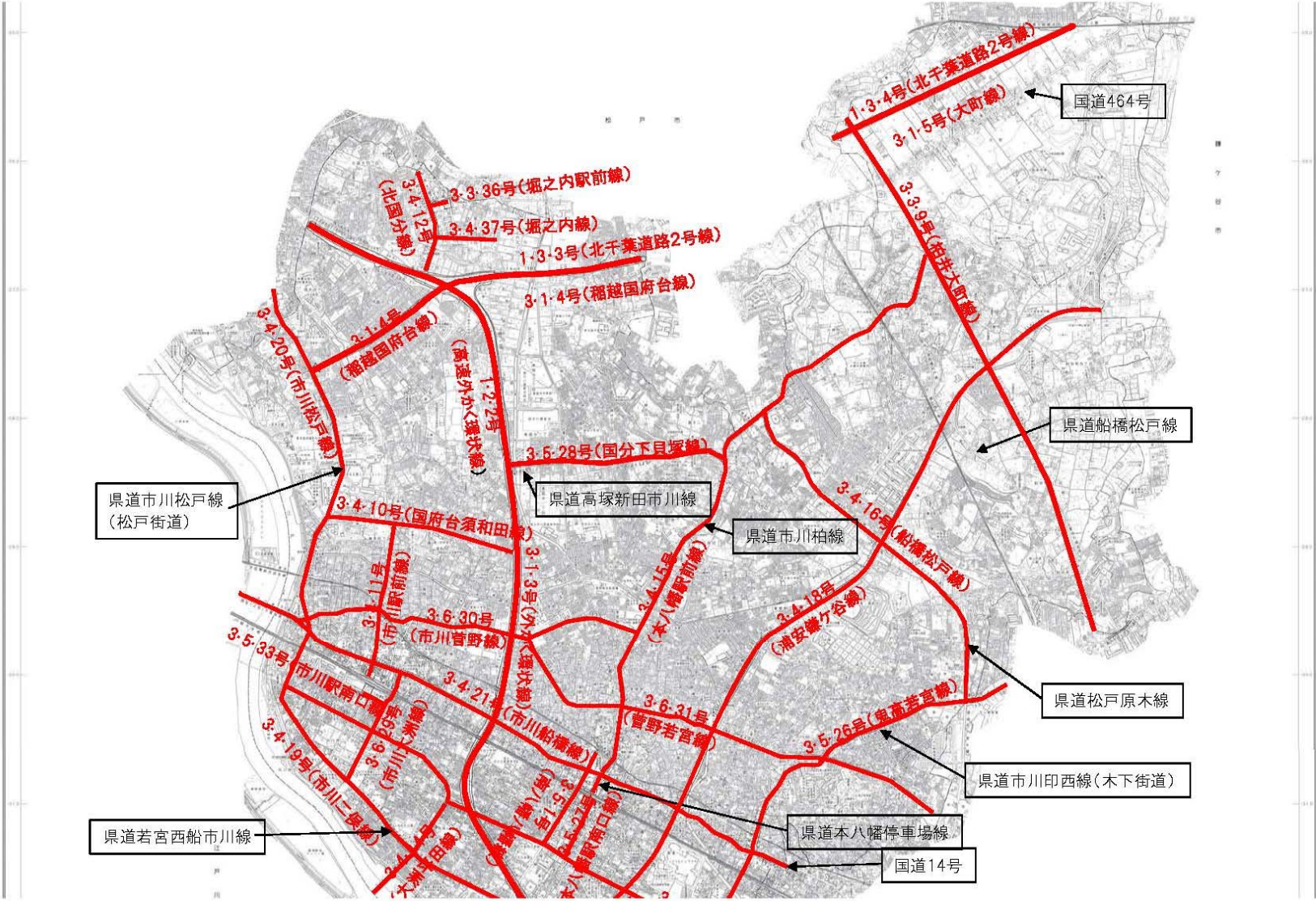
千葉県策定「千葉県都市計画道路見直しガイドライン」に示された手法に基づき、検証作業を実施。

市川市の都市計画道路の状況

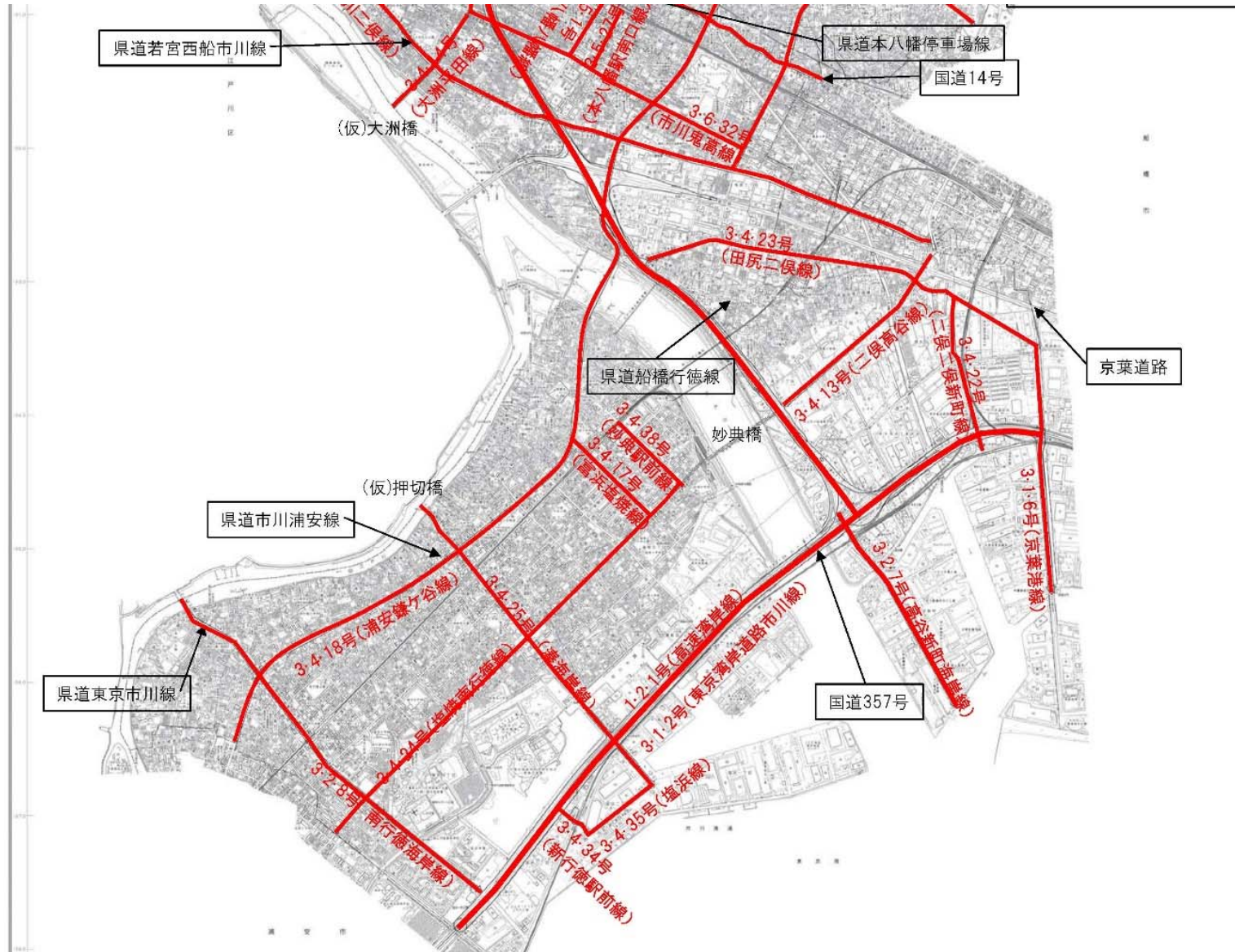


- ・全42路線・総計画長約120km。
- ・整備済み約72.6km(6割)。
- ・昭和15年に最初の都市計画決定。
- ・未整備区間を有する路線は21路線。
- ・当初都決から20年以上経過し、全線未整備が6路線。

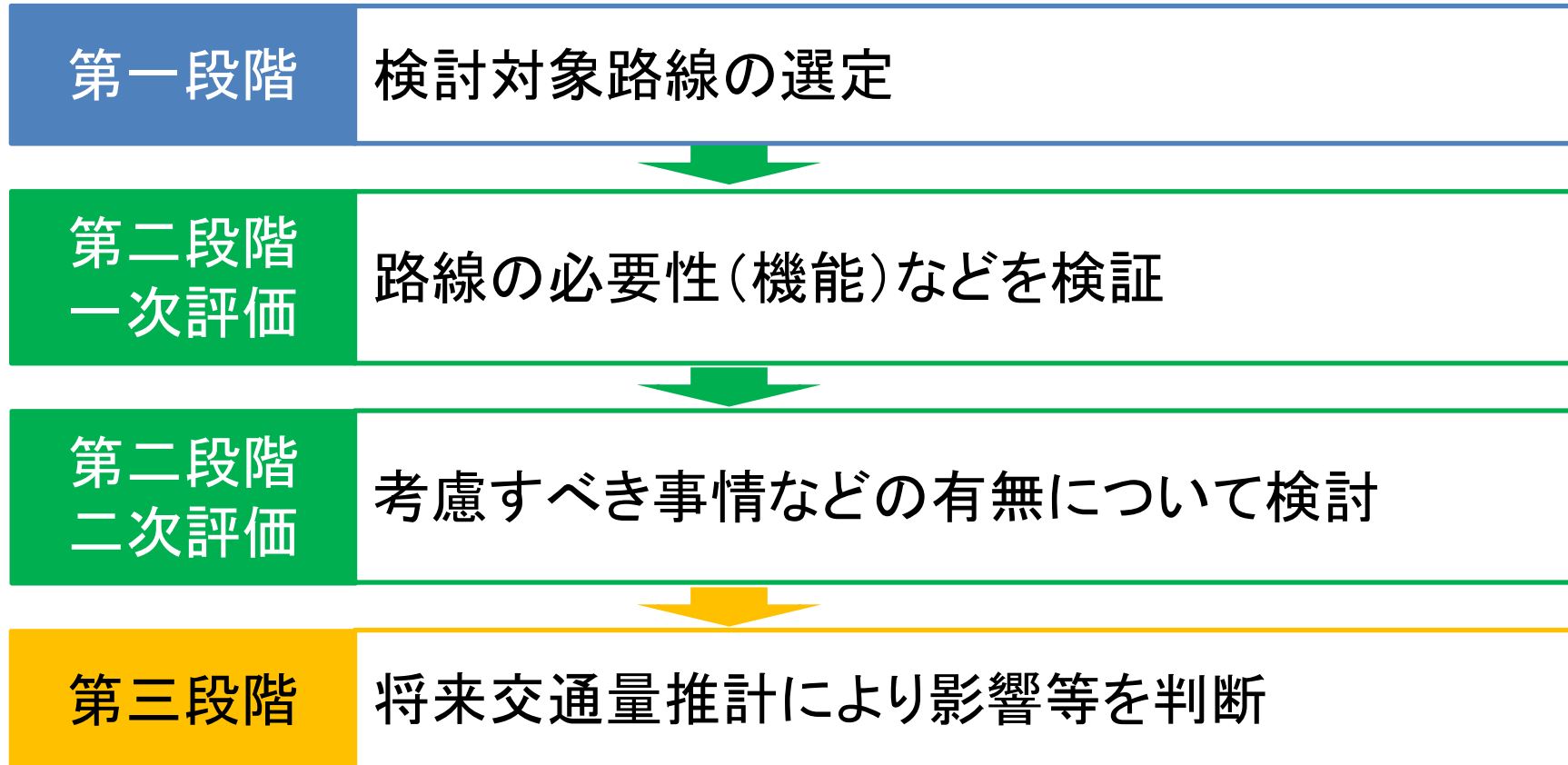
市川市の都市計画道路の状況(北部)



市川市の都市計画道路の状況(南部)



全都市計画道路



廃止候補路線等の決定

全都市計画道路42路線



第一段階

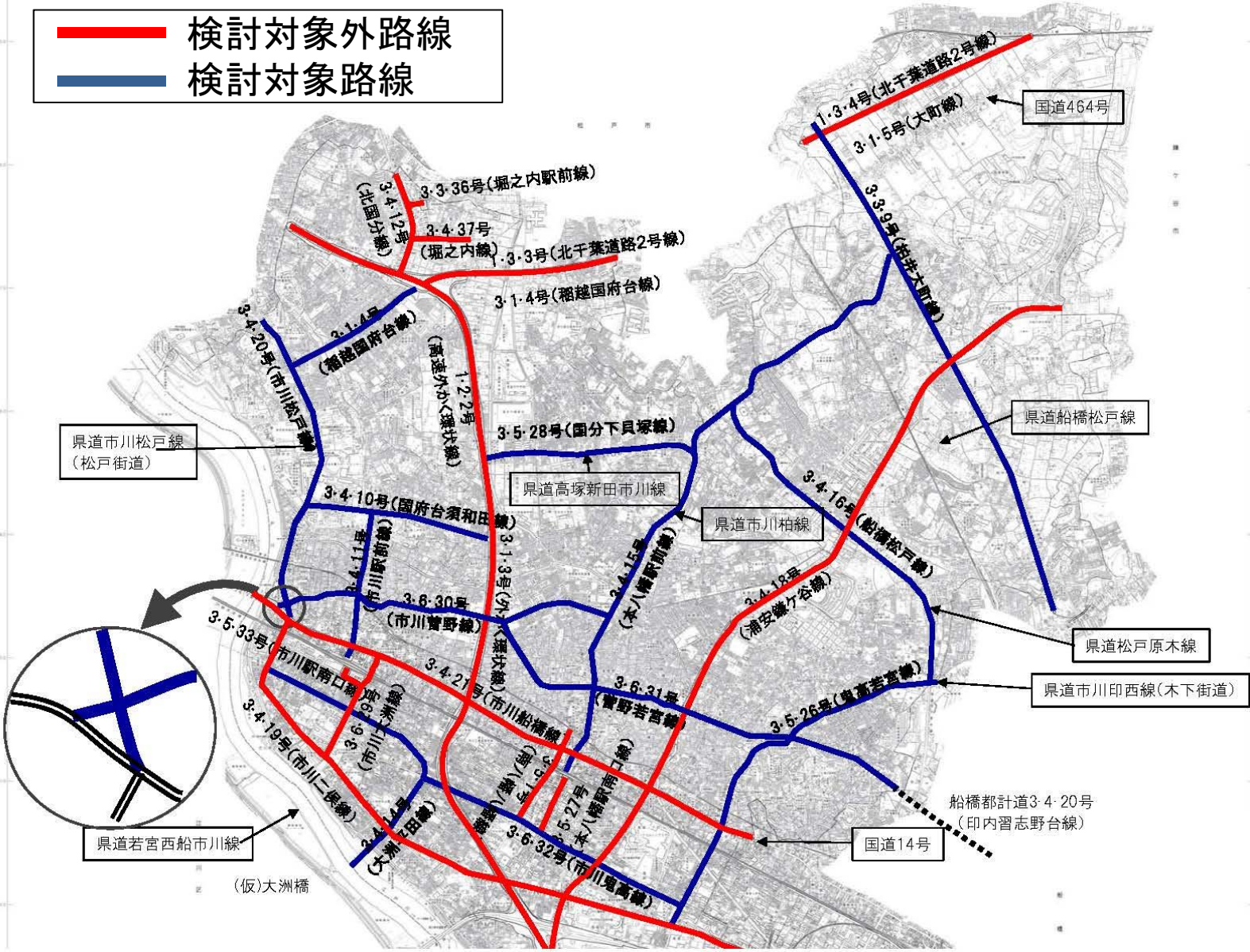
検討対象路線の選定

- 未整備区間を含む路線
- 当初都市計画決定から20年以上未着手の
路線・区間
- 自動車専用道路及びそれに併設される一般
道部については対象外

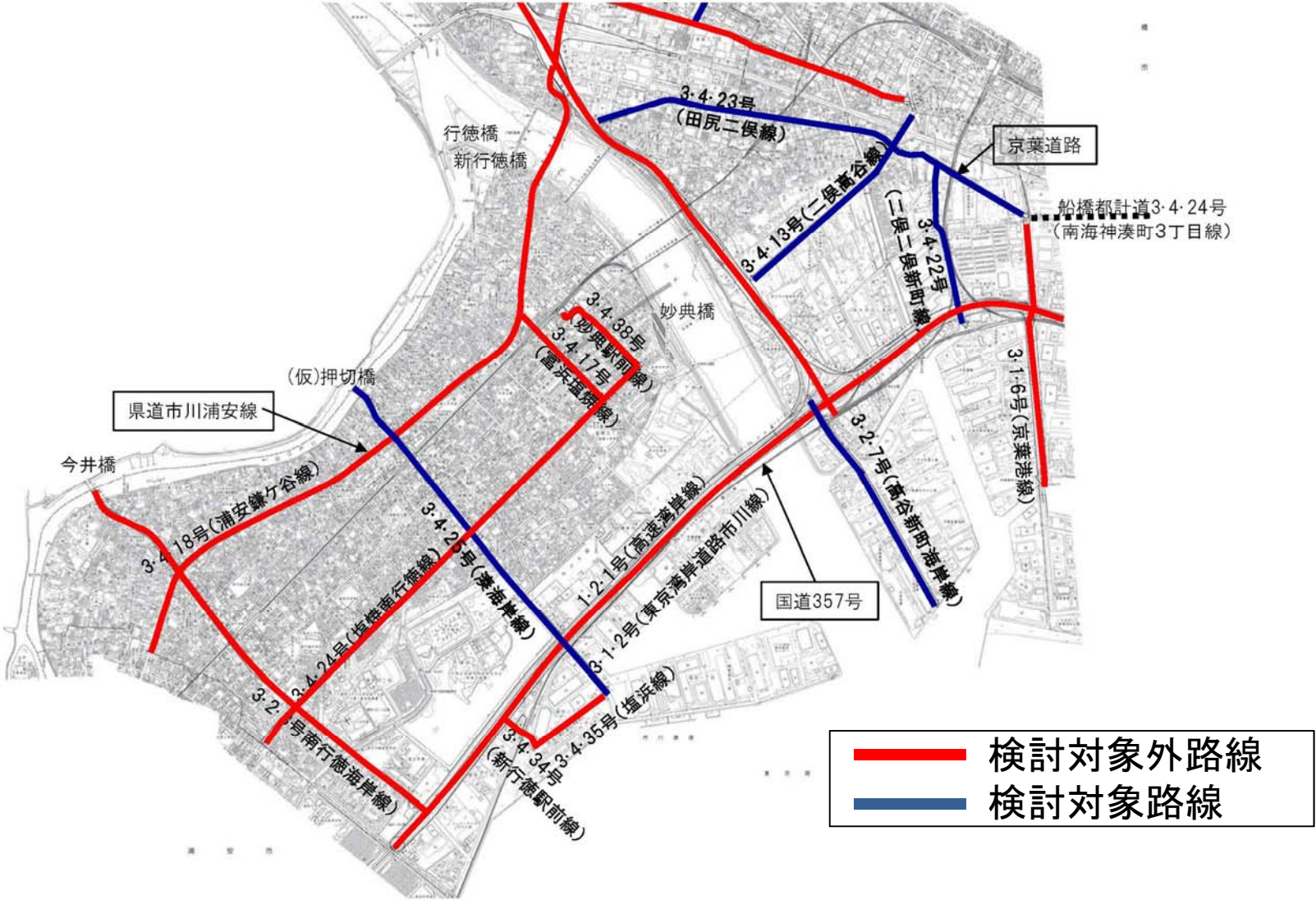
第一段階評価(まとめ)(北部)



— 検討対象外路線
— 検討対象路線



第一段階評価(まとめ)(南部)



第二段階一次評価(全体)



第一段階検証後18路線



第二段階
一次評価

必要性(機能)・機能代替の可能性・整備条件を
評価

- a. 必要性(機能)の有無
- b. 機能代替の可能性の有無
- c. 整備に係る制約条件等の有無

⇒一次評価として「存続候補」「変更候補」「廃止候補」
の見直しの方向性を検討

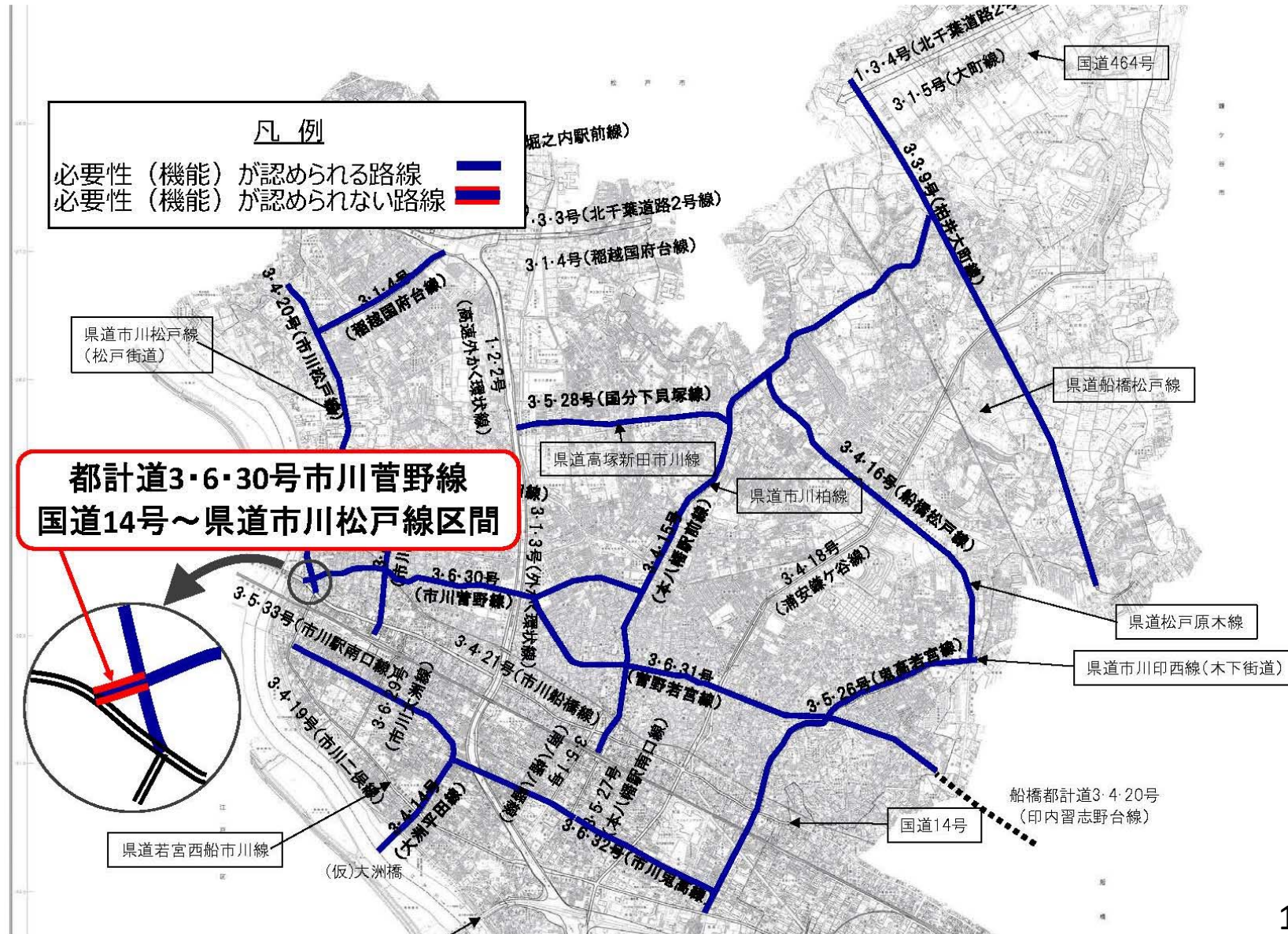
第二段階 一次評価

a. 必要性(機能)の有無

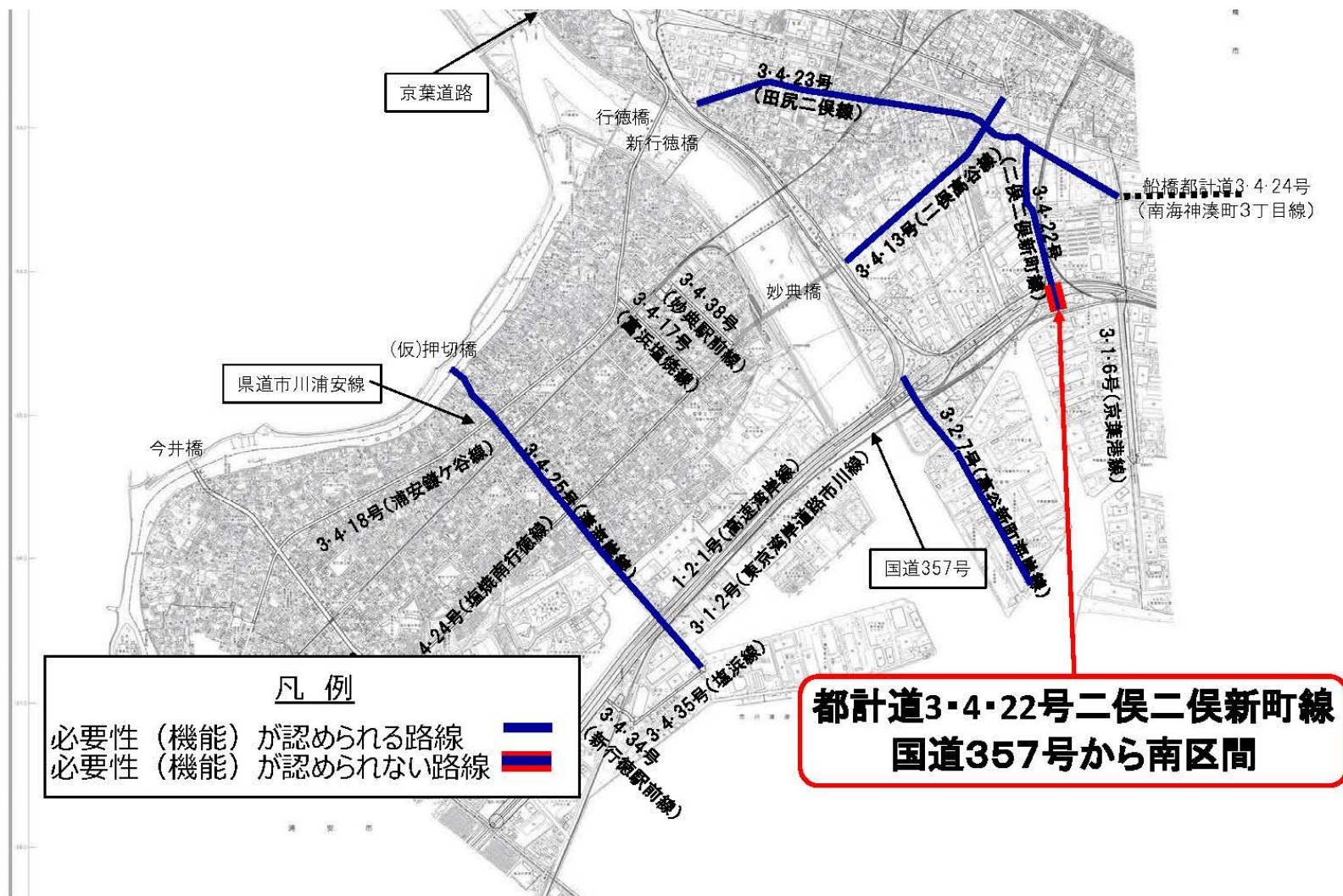
- ① 上位計画等による位置づけ
- ② 都市間・拠点間の連絡
- ③ 土地利用支援のための機能
- ④ 交通処理等のための機能
- ⑤ 都市防災のための機能
- ⑥ 公共交通の導入のための機能
- ⑦ 都市環境形成のための機能

必要性(機能)が あり⇒bの視点による評価へ
なし⇒廃止候補

第二段階一次評価（必要性（機能））北部



第二段階一次評価(必要性(機能))南部



第二段階 一次評価

b.機能代替の可能性の有無

⑧機能代替可能な現道の有無

機能代替可能な現道が

あり⇒廃止候補

なし⇒cの視点による評価へ

c.整備に係る制約条件等の有無

⑨地形的な制約条件等の有無

⑩沿道地域の街並み、商店街への影響の有無

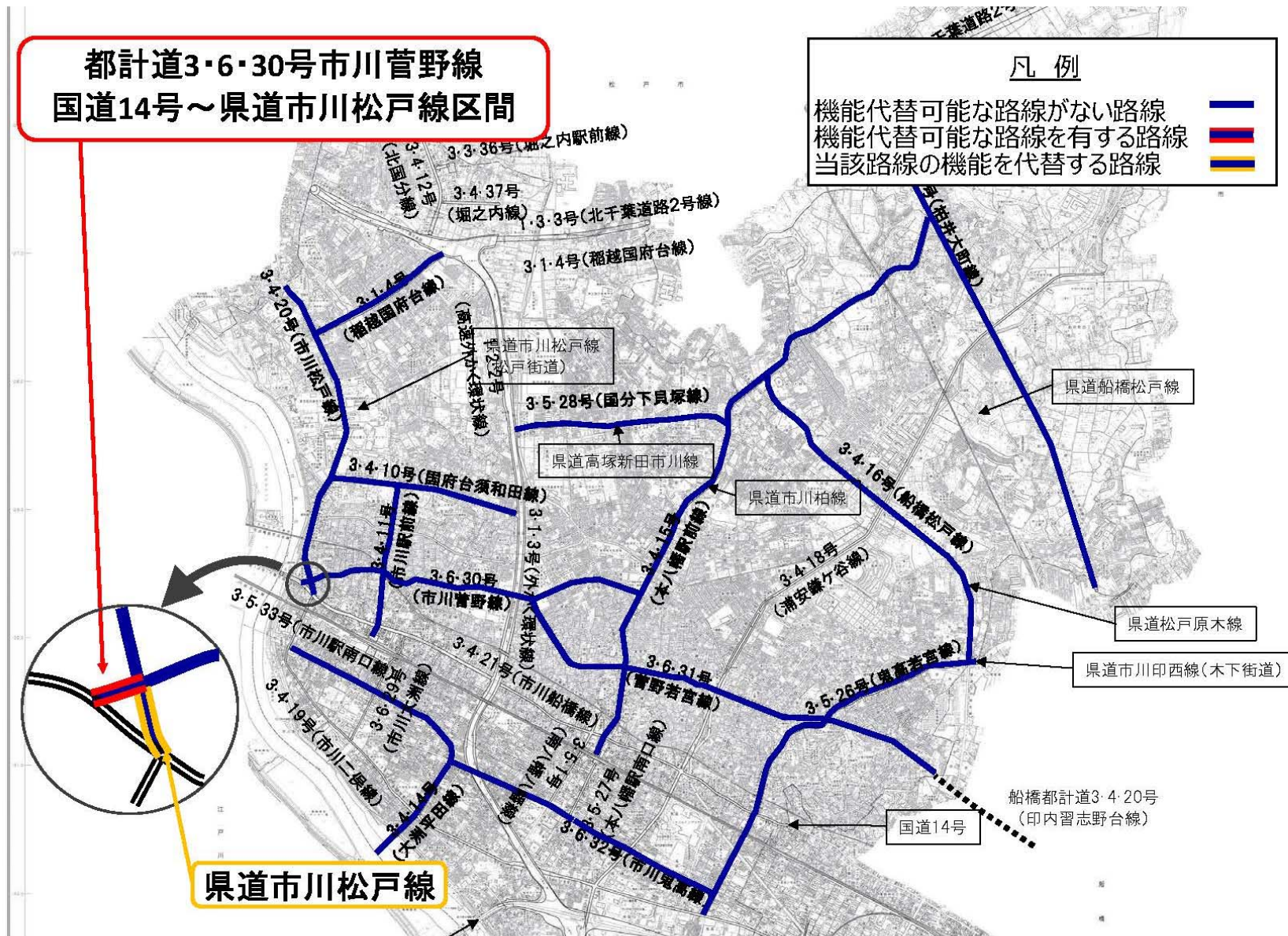
⑪現計画の内容と現行の道路構造令との不整合の有無

制約条件等が

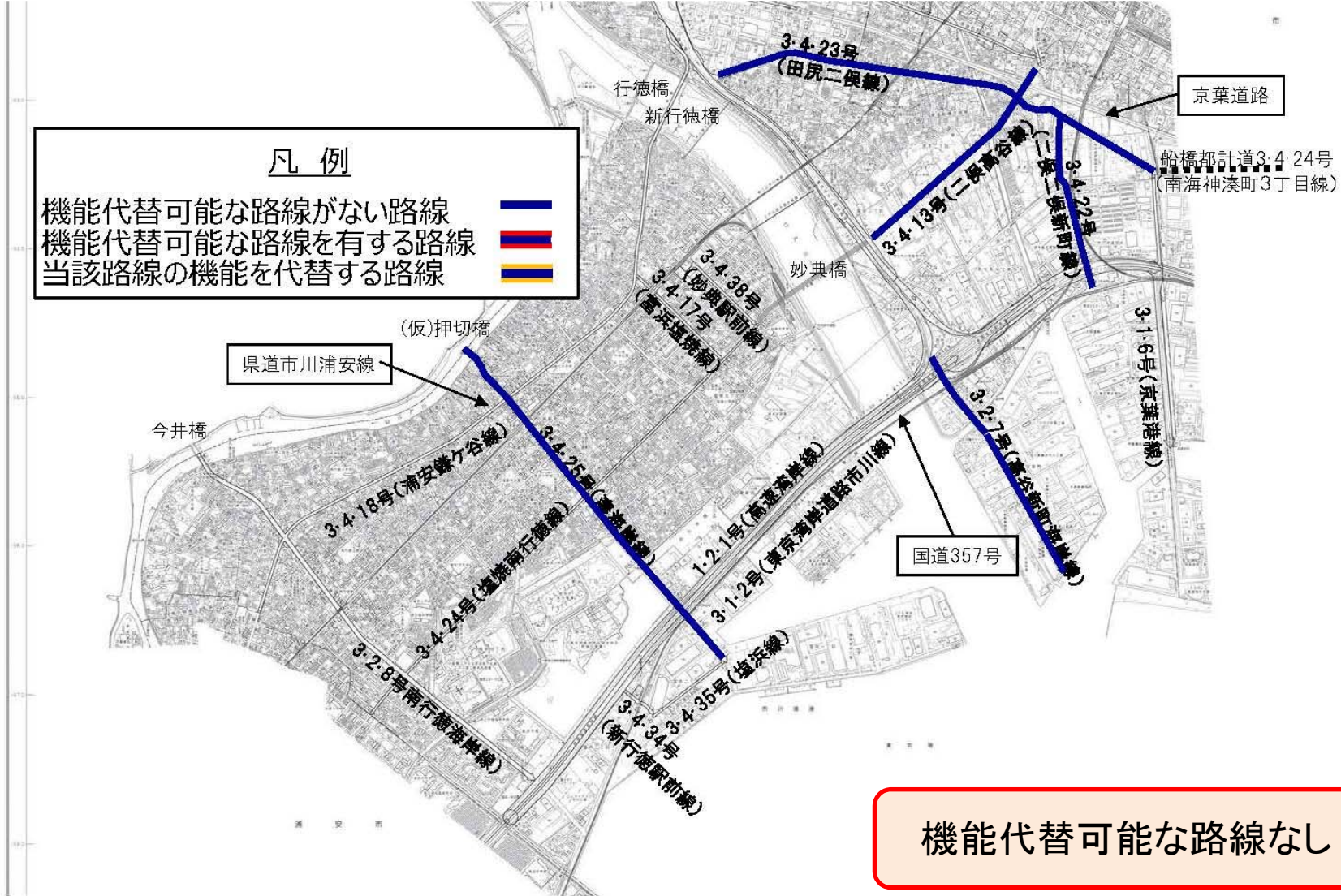
あり⇒廃止候補または変更候補

なし⇒存続候補

第二段階一次評価(代替路線)北部



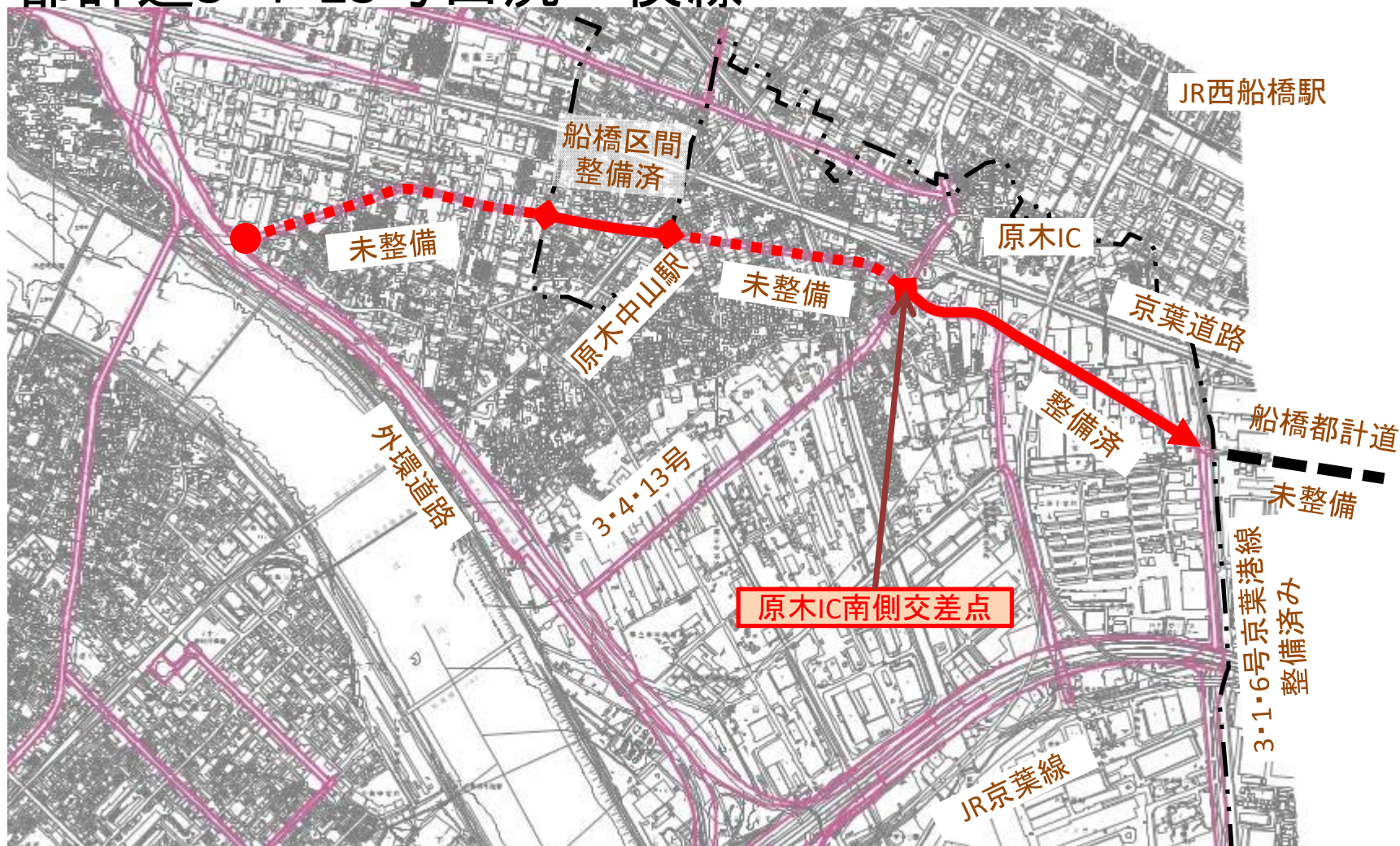
第二段階一次評価(代替路線)南部



第二段階一次評価(整備に係る制約条件)



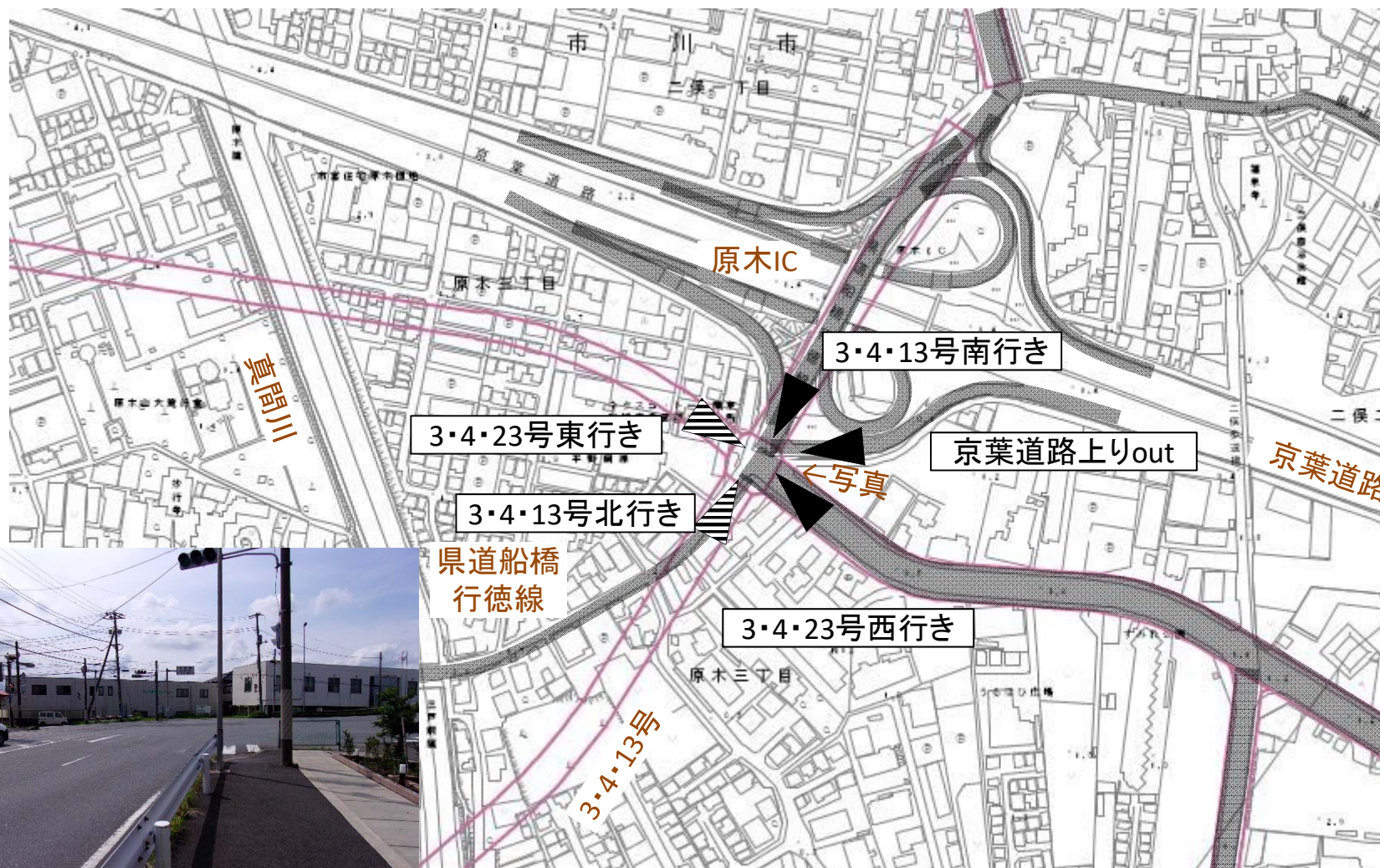
- 都計道3・4・23号田尻二俣線



第二段階一次評価(整備に係る制約条件)



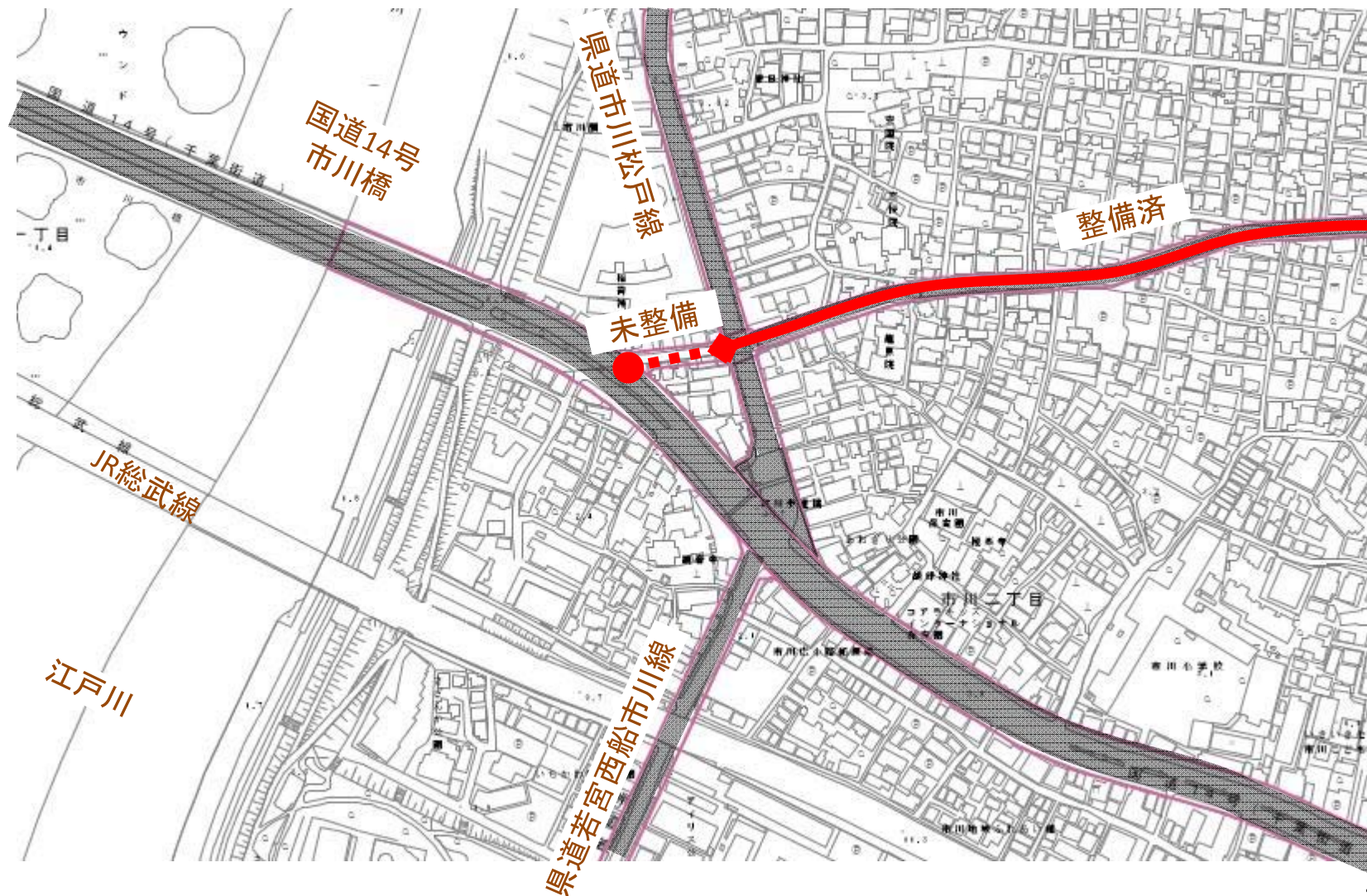
- 原木インターチェンジ南側交差点の流入(5方向)



第二段階一次評価(整備に係る制約条件)



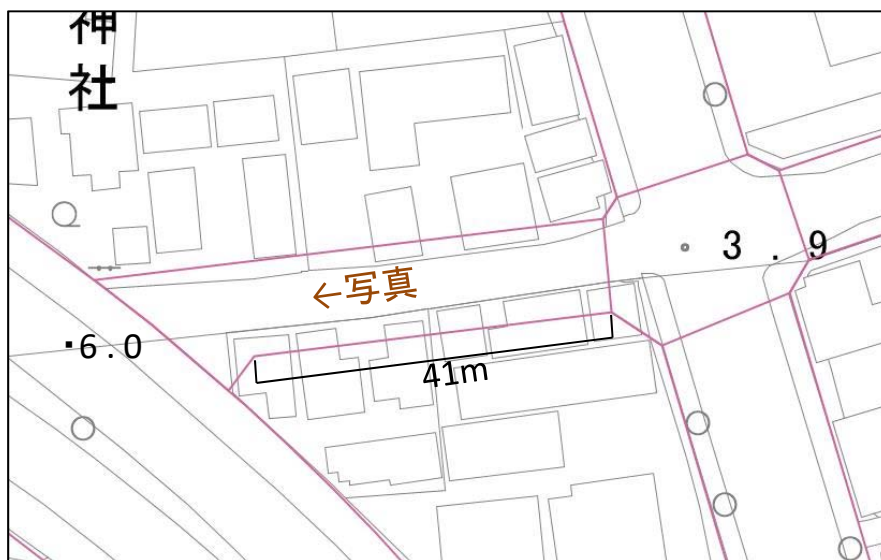
- 都計道3・6・30号市川菅野線



第二段階一次評価(整備に係る制約条件)

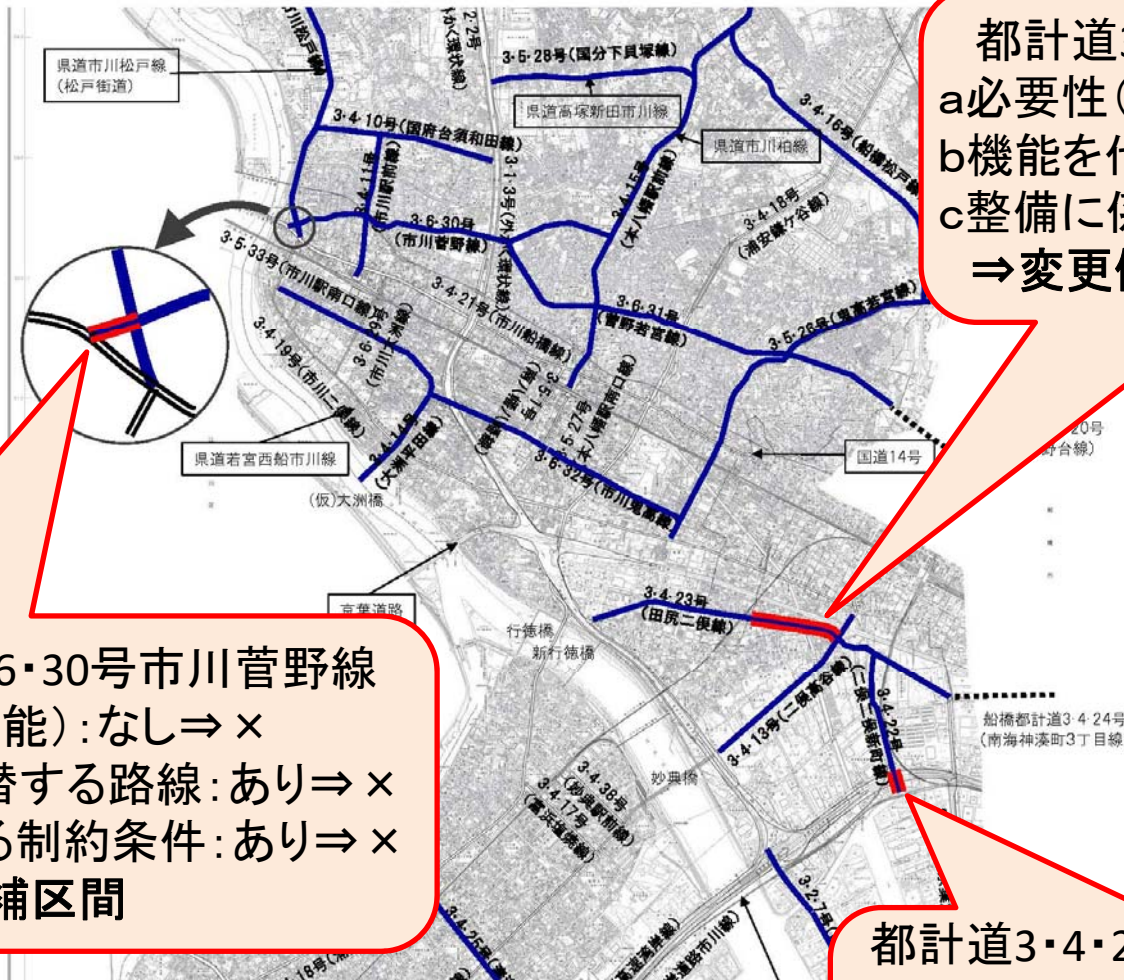


- 都計道3・6・30号市川菅野線



- 設計速度40km/hの場合の最大縦断勾配: 7%
 $((6.0\text{m}-3.9\text{m}) \div 7\% = 30\text{m})$
- 交差点取付部の緩勾配区間長の最小値: 40m
 $(40\text{m}+30\text{m}+40\text{m}=110\text{m}>41\text{m})$

第二段価一次評価まとめ



都計道3・4・23号田尻二俣線
 a必要性(機能):あり⇒○
 b機能を代替する路線:なし⇒○
 c整備に係る制約条件:あり⇒×
 ⇒変更候補区間

都計道3・6・30号市川菅野線
 a必要性(機能):なし⇒×
 b機能を代替する路線:あり⇒×
 c整備に係る制約条件:あり⇒×
 ⇒廃止候補区間

都計道3・4・22号二俣二俣新町線
 a必要性(機能):なし⇒×
 b機能を代替する路線:なし⇒○
 c整備に係る制約条件:なし⇒○
 ⇒廃止候補区間

第二段階二次評価



- ①3・4・22号二俣二俣新町線(国道357号以南の区間約180m)
- ②3・4・23号田尻二俣線
(船橋市境東から原木IC南側交差点約750m)
- ③3・6・30号市川菅野線(国道14号から県道市川松戸線間約70m)



第二段階
二次評価

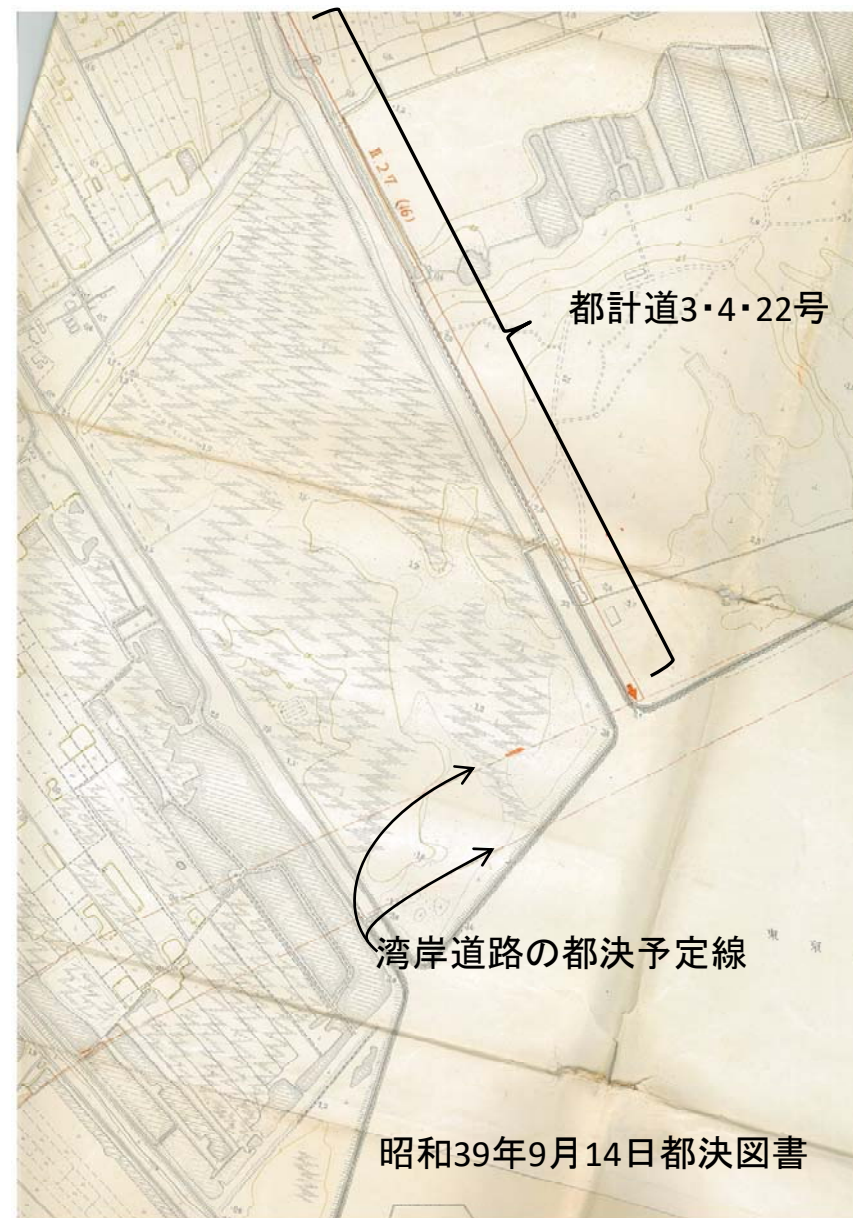
当該路線にかかる地域において考慮すべき事情
などの有無について検討

第二段階二次評価(3・4・22)



1

原木方面から湾岸道路への
接続が当初都市計画決定の
目的であり、達成済みである。

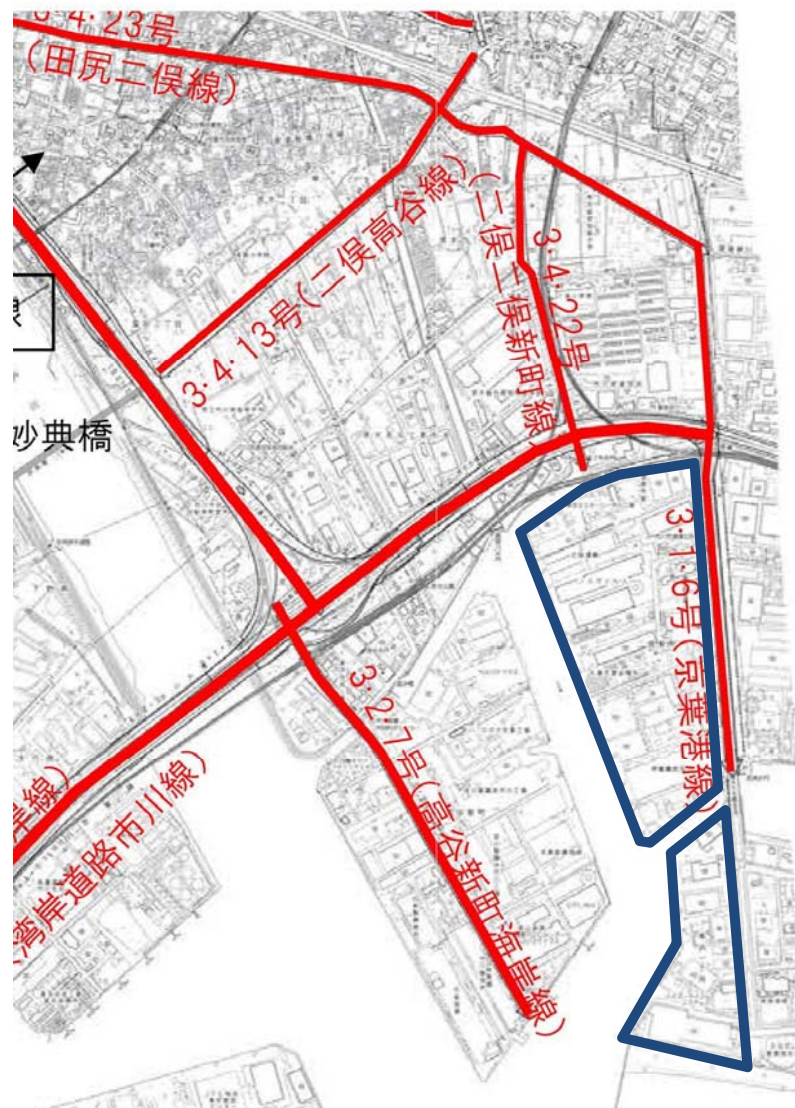


第二段階二次評価(3・4・22)



2

二俣新町地区等へのアクセス道路としての機能は都計道3・1・6号京葉港線が有している。



第二段階二次評価(3・4・22まとめ)



第二段階 二次評価

原木方面から湾岸道路への接続が当初都市計画決定の目的であり、達成済みである。

二俣新町地区等へのアクセス道路としての機能は都計道3・1・6号京葉港線が有している。

⇒廃止候補区間とする。



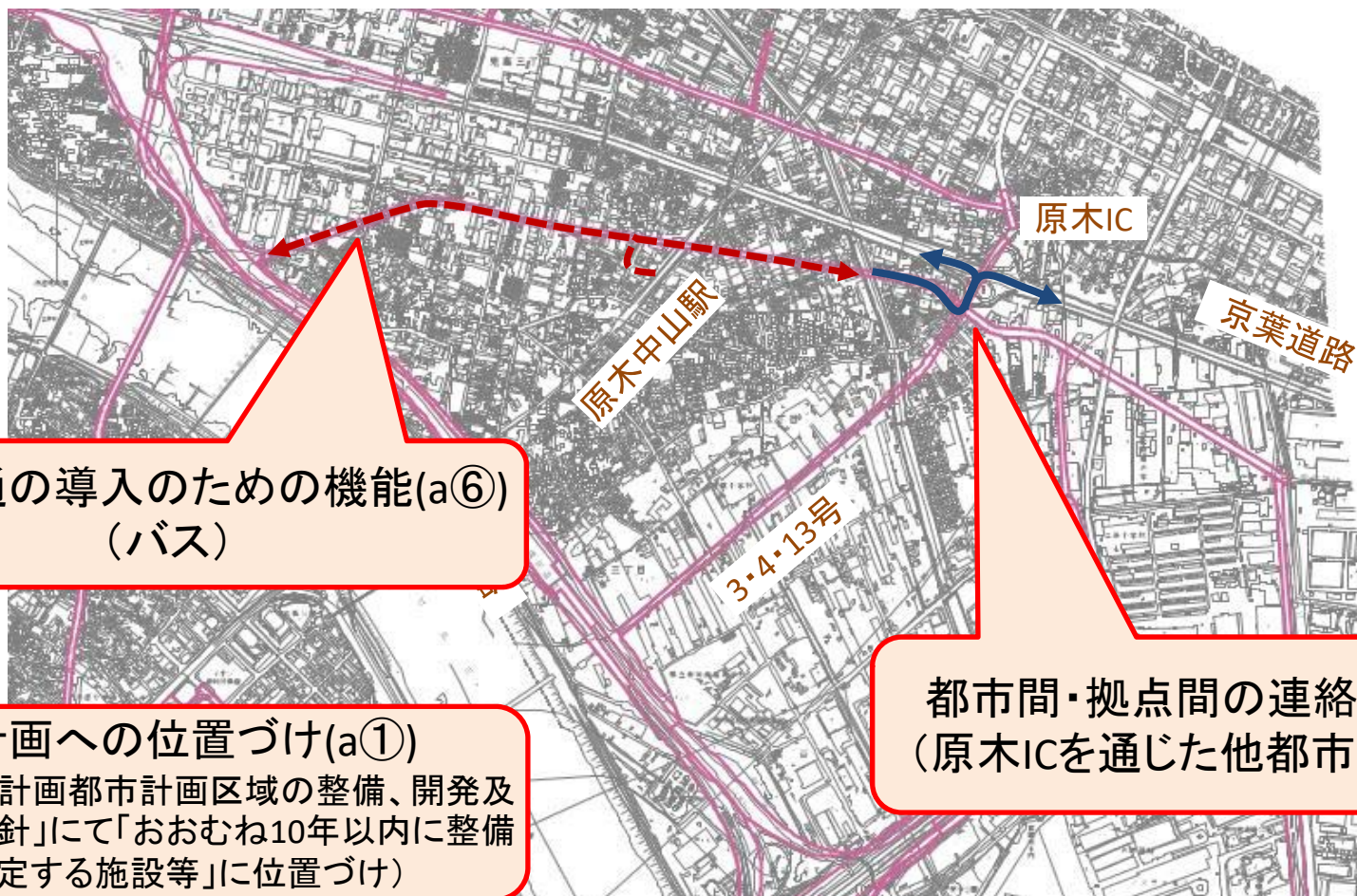
第三段階評価へ

第二段階二次評価(3・4・23)



1

都市計画道路としての必要性(機能)は認められる。



公共交通の導入のための機能(a⑥)
(バス)

上計画への位置づけ(a①)
(「市川都市計画都市計画区域の整備、開発及び保全の方針」にて「おおむね10年以内に整備を予定する施設等」に位置づけ)

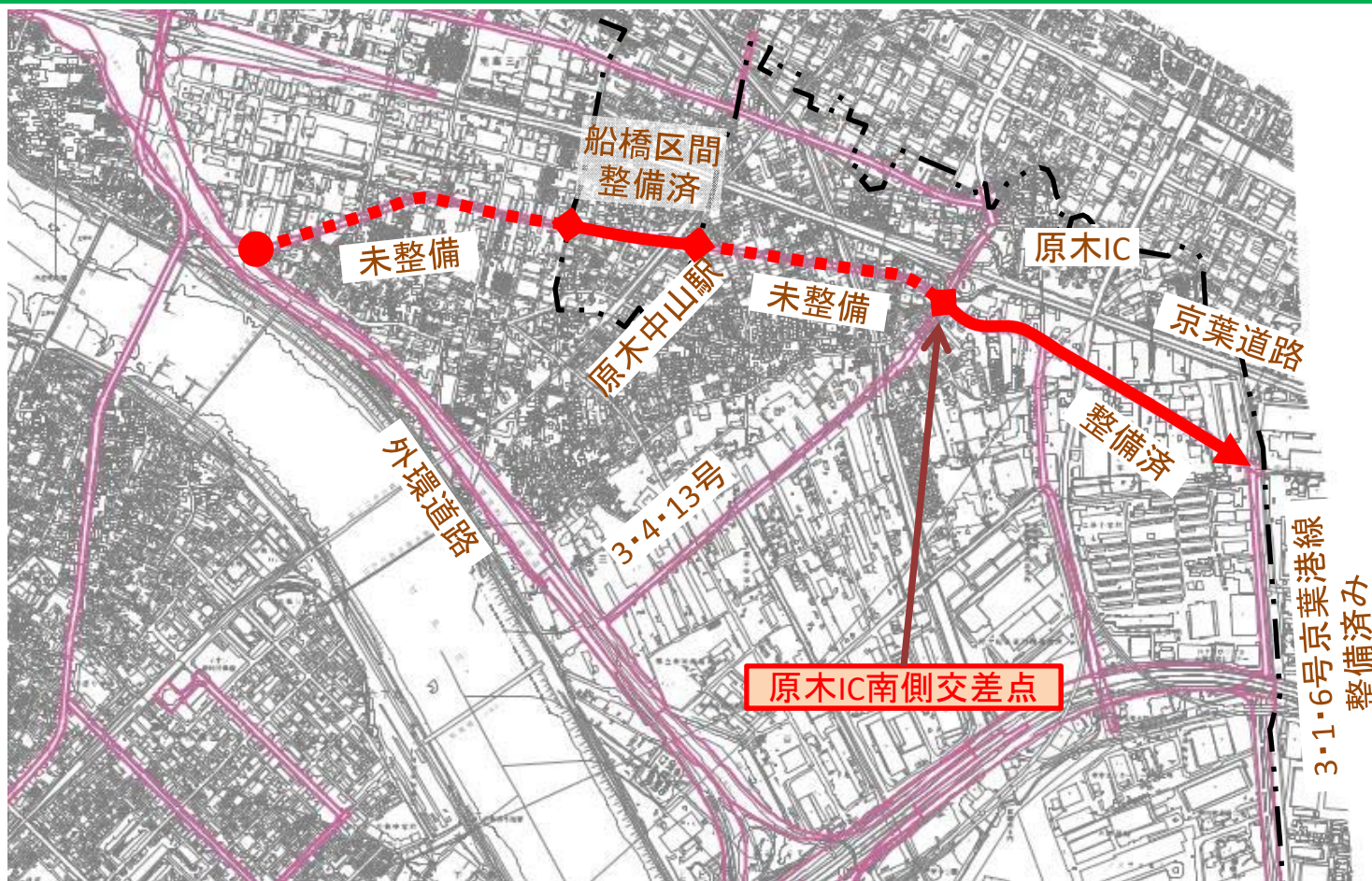
都市間・拠点間の連絡(a②)
(原木ICを通じた他都市連絡)

第二段階二次評価(3・4・23)



2

整備済み区間がある。

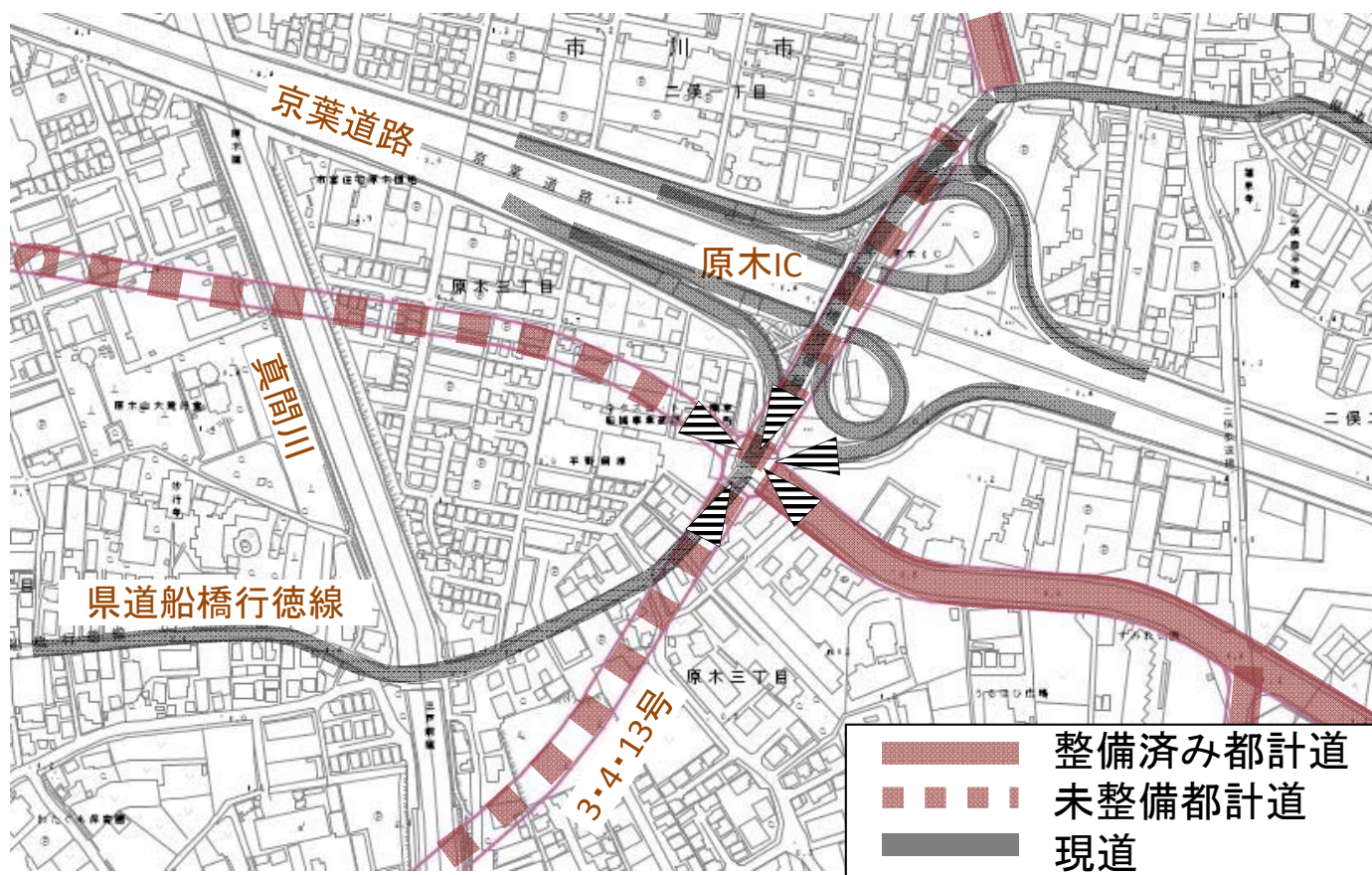


第二段階二次評価(3・4・23)



3

現計画で生じる変則交差点の解消に関しては、今後、都計道3・4・13号の事業化に向けた検討と一体的に検討を行う。



第二段階二次評価(3・4・23まとめ)



第二段階 二次評価

都市計画道路としての必要性(機能)は認められる。

整備済み区間がある。

現計画で生じる変則交差点の解消に関しては、今後、都計道3・4・13号の事業化に向けた検討と一体的に検討を行う。

⇒存続候補区間とする。

第二段階二次評価(3・6・30まとめ)



第二段階 二次評価

一次評価 { a必要性(機能):なし
b機能を代替する路線:あり
c整備にかかる制約条件:あり
のとおり。



⇒廃止候補区間とする。



第三段階評価へ

第三段階



- ①3・4・22号二俣二俣新町線(国道357号以南の区間約180m)
- ②3・6・30号市川菅野線(国道14号から県道市川松戸線間約70m)



第三段階

将来交通量推計により、周辺路線・区間への影響等を判断

第三段階評価(3・4・22まとめ)



第三段階

交通量を推計し、混雑度を比較。



廃止による影響なし。

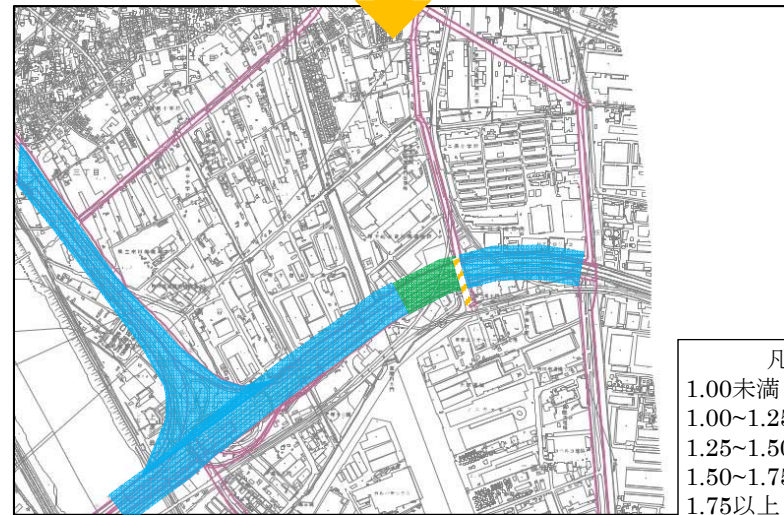
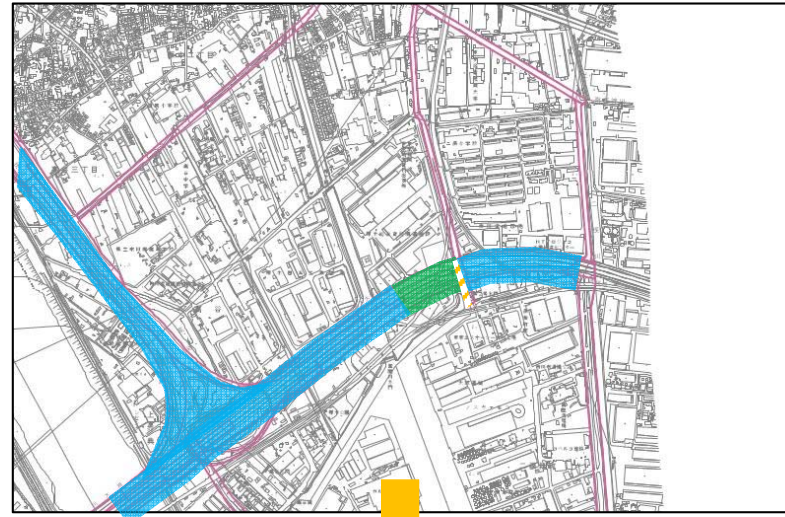


廃止候補区間とする。

全都計道整備時



3・4・22号廃止の場合



凡例	
1.00未満	白
1.00~1.25	青
1.25~1.50	緑
1.50~1.75	黄
1.75以上	赤

第三段階評価(3・6・30まとめ)



第三段階

交通量を推計し、混雑度を比較。



廃止による大きな影響なし。



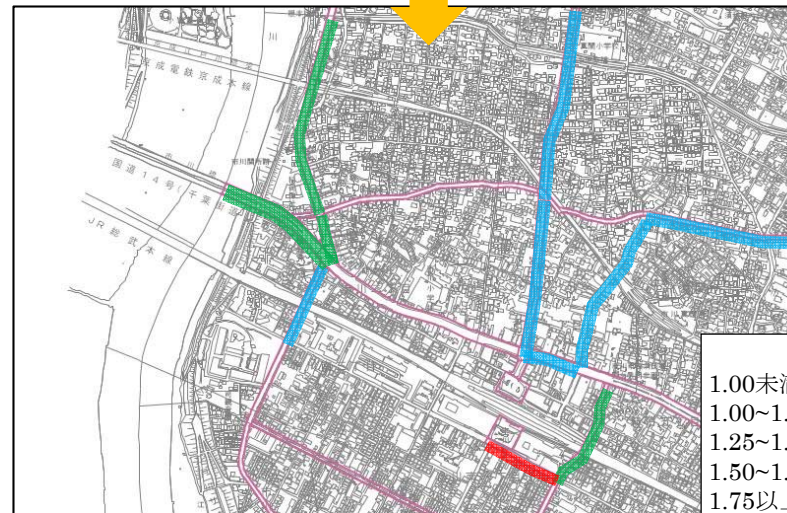
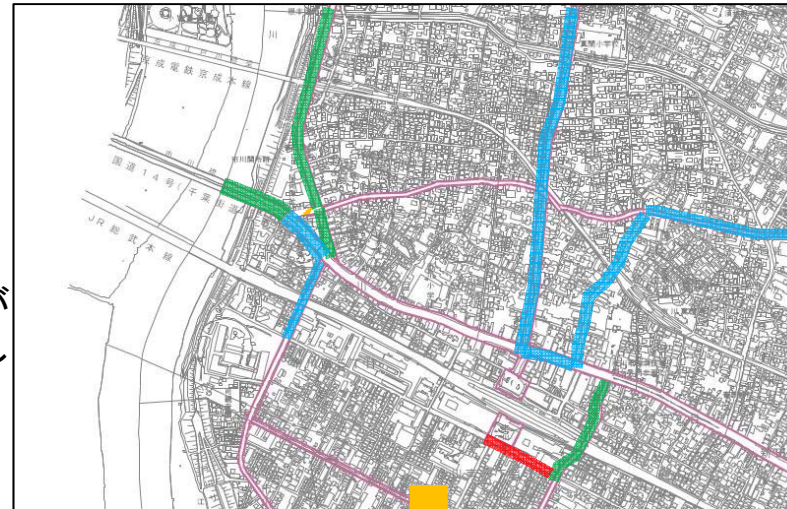
廃止候補区間とする。

全都計道整備時

※本区間は構造上整備が不可能だが、仮に整備したものと推計。



3・6・30号廃止の場合



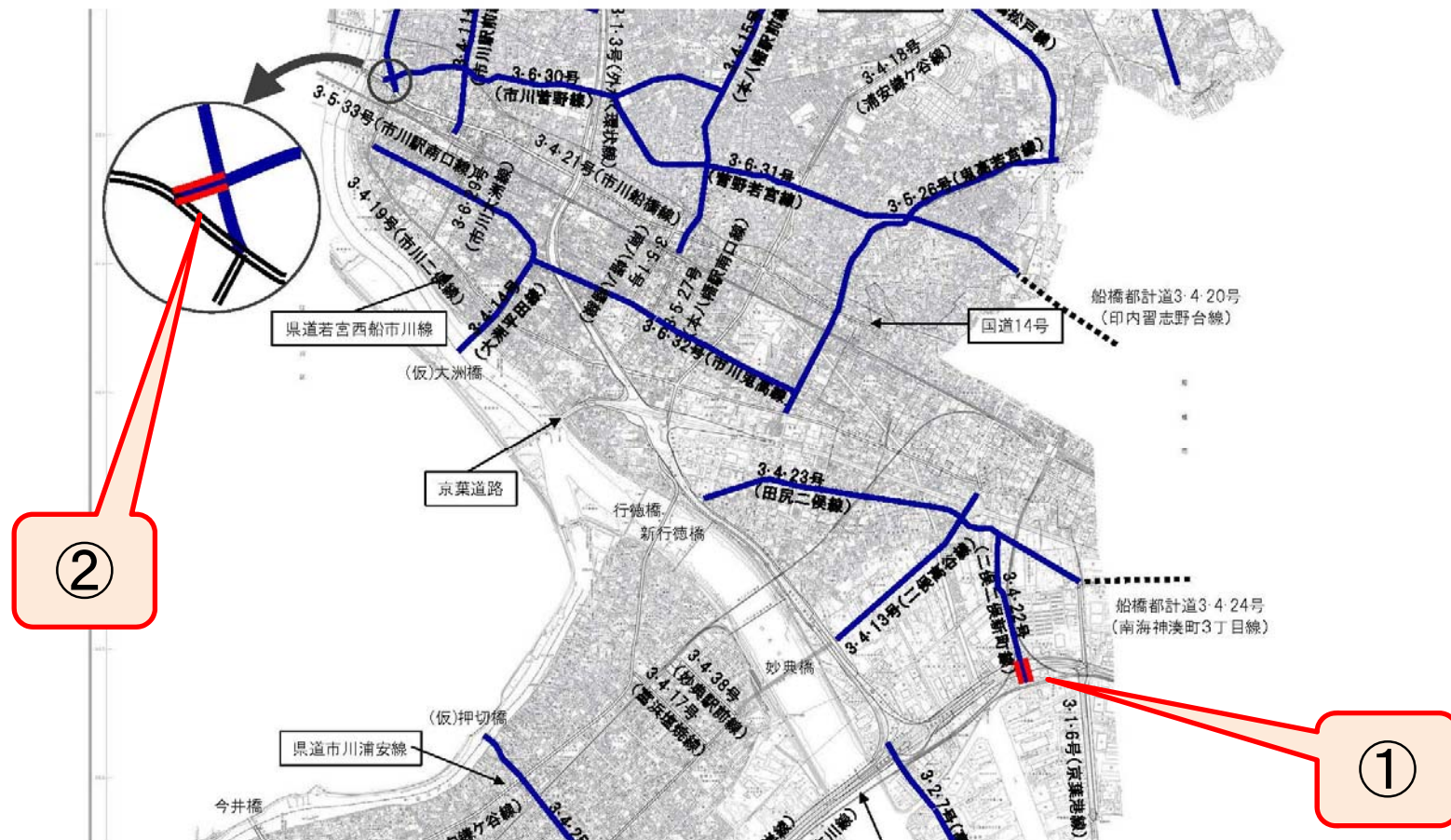
凡例	
1.00未満	白
1.00~1.25	青
1.25~1.50	緑
1.50~1.75	黄
1.75以上	赤

評価まとめ：見直しの方針（案）

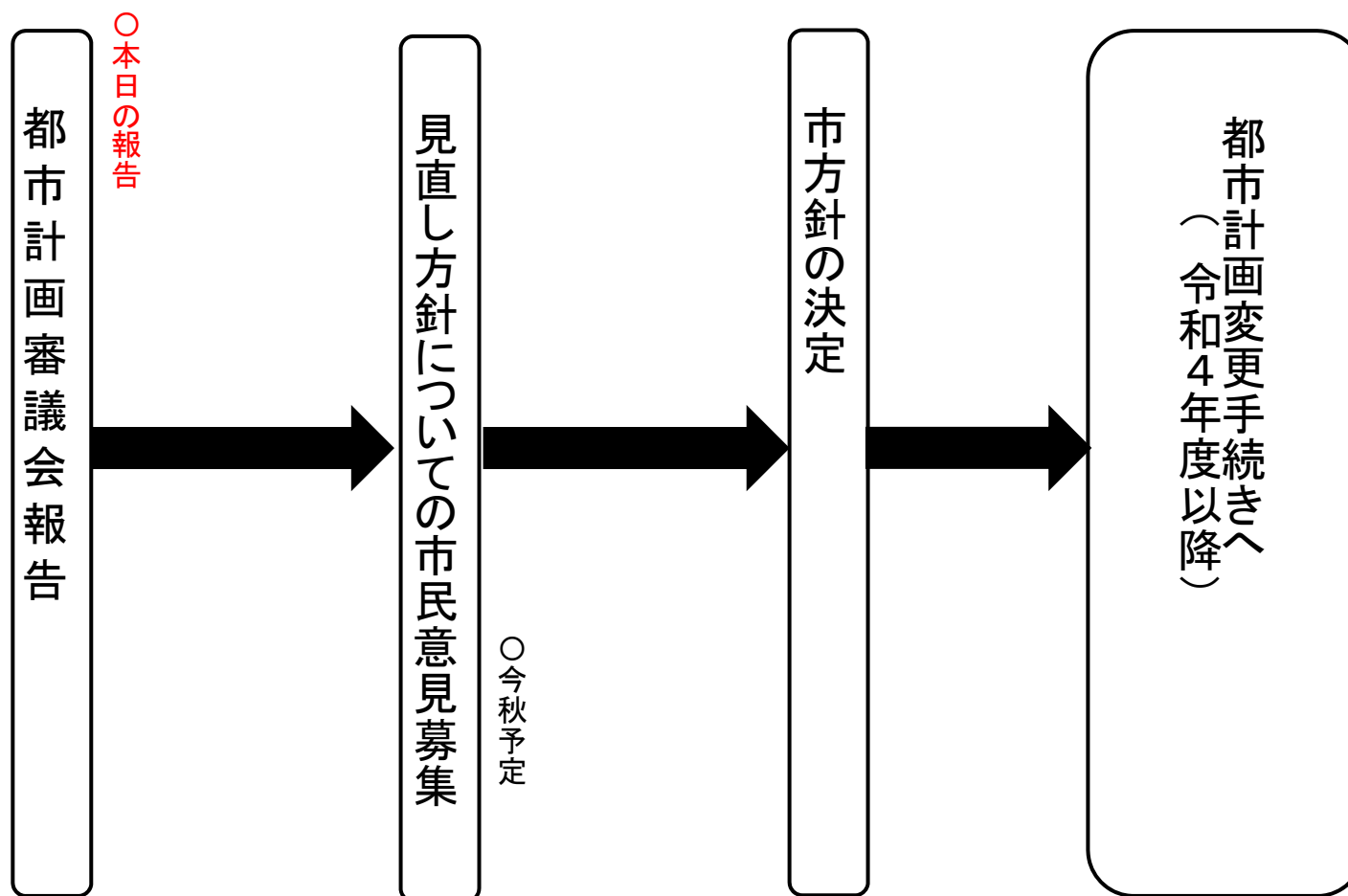


以下の2路線を廃止候補区間とする。

- ① 3・4・22号二俣二俣新町線（国道357号以南の区間約180m）
- ② 3・6・30号市川菅野線（国道14号から県道市川松戸線間約70m）



今後の流れ



番号	名称	区間	第一段階評価				第二段階評価											第三段階	方針			
			未整備 区間 なし	都決 20年 未満	自動車 専用道 又は 併設一 般道部	結果	一次評価													二次 評価	結果	交通への 影響
							a.路線・区間の必要性（機能）の有無							b.機能代 替の可能 性の有無 ⑧現道	c.路線・区間の整備に係る 制約条件等の有無							
							①上位 計画	②都市 連絡	③土地 利用	④交通 処理	⑤都市 防災	⑥公共 交通	⑦都市 環境		⑨地形	⑩沿道 影響	⑪構造令 不整合					
3・4・20	市川松戸線	和洋前～ 松戸境				検討対象	都市マス	隣接自治体 等	-	交通量あり	避難所等	バス既存	-	-	-	-	-	-	-	存続		存続
3・4・21	市川船橋線	全線	✓			対象外																
3・4・22	二俣二俣新町線	湾岸道路 以南				検討対象	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	都決目的 達成済み	廃止	無し	廃止
3・4・23	田尻二俣線	外環～船橋 市域				検討対象	整開保	隣接自治体 等	-	-	-	バス導入	-	-	-	-	-	-	-	存続		存続
		船橋境東～ 原木 IC				検討対象	整開保	隣接自治体 等	-	-	-	バス導入	-	-	-	-	-	変則交差点	制約は 今後検討	存続		存続
3・4・24	塩焼南行徳線	全線	✓			対象外																
3・4・25	湊海岸線	都県境～ 旧道				検討対象	整開保等	隣接自治体 等	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	存続		存続
		旧道～ バイパス				検討対象	整開保等	隣接自治体	-	交通量あり	-	バス既存	-	-	-	-	-	-	-	存続		存続
		千鳥町隣 接区間				検討対象	整開保等	商業地域	再開発促進	交通量あり	-	バス既存	-	-	-	-	-	-	-	存続		存続
3・5・26	鬼高若宮線	R14以南				検討対象	-	隣接自治体	-	-	避難所	-	-	-	-	-	-	-	-	存続		存続
		事業中 区間				検討対象	整開保	隣接自治体	-	交通量あり	-	バス既存	-	-	-	-	-	-	-	存続		存続
		～船橋境				検討対象	-	隣接自治体	-	交通量あり	避難所等	バス既存	-	-	-	-	-	-	-	存続		存続
3・5・27	本八幡駅南口線	全線	✓			対象外																
3・5・28	国分下貝塚線	春木川以 西				検討対象	都市マス等	市川北 IC	-	交通量あり	避難所	バス既存	-	-	-	-	-	-	-	存続		存続
		春木川以 東				検討対象	都市マス等	市川北 IC	-	交通量あり	避難所	バス既存	-	-	-	-	-	-	-	存続		存続
3・6・29	市川大洲線	全線	✓			対象外																
3・6・30	市川菅野線	R14～市川 松戸線				検討対象	-	-	-	-	-	-	-	市川松戸線	-	-	縦断勾配	評価点 なし	廃止	無し	廃止	
3・6・31	菅野若宮線	木下街道 以東				検討対象	-	隣接自治体	-	-	延焼防止	-	-	-	-	-	-	-	-	存続		存続
3・6・32	市川鬼高線	3・6・29交 差点迄				検討対象	都市マス等	-	再開発誘導	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	存続		存続
		～3・4・14 交差点				検討対象	都市マス等	-	再開発誘導	-	-	バス導入	-	-	-	-	-	-	-	存続		存続
		外環～ 3・5・27				検討対象	都市マス等	-	-	交通量あり	-	バス導入	都市拠点	-	-	-	-	-	-	存続		存続
		～東側終 点				検討対象	都市マス	-	-	-	避難所	-	都市拠点	-	-	-	-	-	-	存続		存続
3・5・33	市川駅南口線	全線	✓			対象外																
3・4・34	新行徳駅前線	全線	✓			対象外																
3・4・35	塩浜線	全線	✓			対象外																
3・3・36	堀之内駅前線	全線	✓			対象外																
3・4・37	堀之内線	全線	✓			対象外																
3・4・38	妙典駅前線	全線	✓			対象外																
全 4 2 路線			検討対象 1 8 路線				検討対象 1 8 路線のうち、存続候補 1 6 路線、廃止候補 2 路線													2 路線廃止		

○未整備区間について記載（未整備区間がない路線は一行で記載）。

全都市計画道路42路線



第一段階 p7~9	検討対象路線の選定
--------------	-----------



第一段階検証後18路線



第二段階 一次評価 p10~22	必要性(機能)・機能代替の可能性・整備条件を評価 a.必要性(機能)の有無 b.機能代替の可能性の有無 c.整備に係る制約条件等の有無
------------------------	--



第二段階二次評価対象3路線(3・4・22号、3・4・23号、3・6・30号)



第二段階 二次評価 p23~31	当該路線にかかる地域において考慮すべき事情などの有無について検討
------------------------	----------------------------------



第三段階評価対象2路線(3・4・22号、3・6・30号)



第三段階 p32~34	将来交通量推計により、周辺路線・区間への影響等を判断。
----------------	-----------------------------



見直しの方針 (案) p35	廃止候補区間 ①3・4・22号二俣二俣新町線(国道397号以南の区間約180m) ②3・6・30号市川菅野線(国道14号から県道市川松戸線間約70m)
----------------------	---